

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年2月8日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東  
 コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大島 洋子 TEL 03-5778-7777 (代)  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	46,197	△31.8	△2,913	—	△1,867	—	△1,282	—
29年3月期第3四半期	67,732	△31.9	6,201	△52.6	5,742	△60.0	3,417	△65.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,325百万円(△71.9%) 29年3月期第3四半期 4,714百万円(△55.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△15.80	—
29年3月期第3四半期	42.18	40.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	387,244	331,215	85.3
29年3月期	390,585	340,287	86.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 330,158百万円 29年3月期 339,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
30年3月期	—	75.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	3.1	4,000	△20.9	5,000	30.5	3,500	96.9	43.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	89,597,500株	29年3月期	89,597,500株
30年3月期3Q	8,421,159株	29年3月期	8,574,481株
30年3月期3Q	81,176,636株	29年3月期3Q	81,023,435株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の好調及び雇用環境の着実な改善等から景気は緩やかに回復しております。

当パチンコ・パチスロ業界を取り巻く環境といたしましては、ギャンブル等依存症問題への対応の一環として「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」（いわゆる遊技機規則改正）が平成29年9月に公布され、平成30年2月1日付で施行されました。これにより当社グループの顧客であるパチンコパーラーは、3年間の経過措置の間に改正前規則の遊技機を順次改正規則の遊技機に置き換えていくこととなりますが、現段階で改正規則に適合する遊技機に対してファンがどのような反応を示すか見通しづらいことから、既存の遊技機の設置機種構成見直しの判断を先送りしております。

こうした中、当社グループはパチンコ9タイトル、パチスロ3タイトルを販売いたしました。著名コンテンツとタイアップした新規タイトル等の投入により規則改正前の入替需要を狙うことで第2四半期累計期間までの段階と比較して販売は盛り返しました。しかし前述した通り、パーラーの新台幣入替判断に対する慎重な姿勢が続いていること、安定した人気のある定番タイトルに需要が集中したことなどから経営成績は期待に及ばない結果となりました。

以上の結果、売上高461億円（前年同四半期比31.8%減）、営業損失29億円（前年同四半期は62億円の営業利益）、経常損失18億円（前年同四半期は57億円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失12億円（前年同四半期は34億円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高321億円（前年同四半期比40.4%減）、営業利益8億円（同92.9%減）、販売台数80千台となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア」（平成29年8月）、Bistyブランドの「エヴァンゲリオン 2018年モデル」（平成29年10月）、JBブランドの「新夏祭り」（平成29年6月）であります。

#### (パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高78億円（前年同四半期比0.3%減）、営業損失4億円（前年同四半期は15億円の営業損失）、販売台数18千台となりました。

販売タイトルは、SANKYOブランドの「パチスロ マクロスフロンティア3」（平成29年5月）、「パチスロ アクエリオンEVOL」（平成29年7月）、「パチスロ ゴルゴ13」（平成29年9月）であります。

#### (補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高58億円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益3億円（同44.6%増）となりました。

#### (その他)

その他につきましては、売上高4億円（前年同四半期比11.2%増）、営業損失3億円（前年同四半期は5億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,872億円であり、前連結会計年度末と比べ33億円減少しました。これは主に、有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が50億円、投資有価証券が46億円それぞれ増加となりましたが、有価証券が90億円、前払費用（流動資産「その他」に含む）が27億円、現金及び預金が22億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は560億円であり、前連結会計年度末と比べ57億円増加しました。これは主に、未払金（流動負債「その他」に含む）が17億円減少となりましたが、支払手形及び買掛金が67億円、電子記録債務が9億円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ90億円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が26億円、フィールズ株式会社を持分法適用の範囲から除外したことにより14億円増加となった一方、配当金の支払い121億円、親会社株主に帰属する四半期純損失を12億円計上したことによるものであります。この結果、純資産は3,312億円となり、自己資本比率は1.6ポイント減少し、85.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年1月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	97,818	95,598
受取手形及び売掛金	18,626	16,737
有価証券	188,007	178,999
商品及び製品	82	3,892
仕掛品	289	5
原材料及び貯蔵品	1,334	1,444
その他	11,407	14,777
貸倒引当金	△13	△1
流動資産合計	317,552	311,453
固定資産		
有形固定資産	44,880	44,931
無形固定資産		
のれん	267	166
その他	319	262
無形固定資産合計	586	428
投資その他の資産		
投資有価証券	21,612	26,243
その他	6,357	4,587
貸倒引当金	△24	△22
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	27,565	30,429
固定資産合計	73,032	75,790
資産合計	390,585	387,244
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,607	12,337
電子記録債務	8,113	9,079
未払法人税等	1,623	677
賞与引当金	834	407
その他	5,750	4,984
流動負債合計	21,930	27,486
固定負債		
新株予約権付社債	20,066	20,051
退職給付に係る負債	4,671	4,840
資産除去債務	63	63
その他	3,565	3,585
固定負債合計	28,368	28,541
負債合計	50,298	56,028

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	335,518	322,666
自己株式	△39,700	△38,782
株主資本合計	334,408	322,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,264	7,804
退職給付に係る調整累計額	△188	△120
その他の包括利益累計額合計	5,076	7,684
新株予約権	802	1,057
純資産合計	340,287	331,215
負債純資産合計	390,585	387,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	67,732	46,197
売上原価	31,277	23,433
売上総利益	36,455	22,763
販売費及び一般管理費	30,253	25,676
営業利益又は営業損失(△)	6,201	△2,913
営業外収益		
受取利息	256	144
受取配当金	482	733
その他	142	170
営業外収益合計	881	1,048
営業外費用		
持分法による投資損失	1,336	—
投資事業組合運用損	0	—
その他	3	3
営業外費用合計	1,340	3
経常利益又は経常損失(△)	5,742	△1,867
特別利益		
固定資産売却益	8	—
ゴルフ会員権売却益	—	2
特別利益合計	8	2
特別損失		
固定資産売却損	24	2
固定資産廃棄損	35	13
投資有価証券売却損	—	42
ゴルフ会員権売却損	7	—
特別損失合計	66	58
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	5,684	△1,924
法人税、住民税及び事業税	1,961	640
法人税等調整額	305	△1,282
法人税等合計	2,267	△642
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,417	△1,282
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,417	△1,282



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,417	△1,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,236	2,621
退職給付に係る調整額	49	57
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△71
その他の包括利益合計	1,296	2,607
四半期包括利益	4,714	1,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,714	1,325
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,868	7,847	5,647	67,363	369	67,732	—	67,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	53,868	7,847	5,647	67,363	369	67,732	—	67,732
セグメント利益 又は損失(△)	11,841	△1,534	262	10,569	△525	10,043	△3,841	6,201

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,117	7,821	5,847	45,786	410	46,197	—	46,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	32,117	7,821	5,847	45,786	410	46,197	—	46,197
セグメント利益 又は損失(△)	844	△409	379	814	△359	455	△3,368	△2,913

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。